

平成27年度

水道事業会計の決算状況

私たちの日常生活において、水は欠かせないものであり、水道は生活を支えるライフラインの一つです。

市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを行っています。



▲市の水源の一つである来馬川

水道事業会計の概要

水道事業は、地方公営企業法に基づき、地方自治体が経営する企業として運営されています。

そして、企業の経営成績、財政状態を明らかにするため、会計制度は企業会計方式を採用しているほか、事業に必要な経費は、経営に伴う収入（水道料金収入）をもって充てるという独立採算制を原則に経営を行っています。

このため、事業の運営に当たっては、本来の目的である公共の福祉を増進するとともに、常に効率的な事業運営を図り、企業の経済性を発揮

給水の状況

給水人口	48,908人
給水戸数	22,223戸
年間給水量	3,915,886m ³
一日当たりの平均配水量	12,588m ³
一日一人当たりの平均配水量	219ℓ

(平成28年3月31日現在)

することが求められています。現在はもちろん、将来にわたって持続可能な水道事業とするためには、事業運営基盤の強化を図り、安全・安心な給水体制を確保する必要があります。

収入と支出の概要



収益的収支とは、水をつくり家庭などにお届けするための費用などの収支を表したものです。

平成27年度決算は、収入合計が9億1千358万円、支出合計が8億1千268万円で、収支は1億90万円の黒字となりました。

この黒字額は、国などからの借入金に対する今後の元金償還に備えるため減債積立金に5千90万円、配水管の更新などの施設整備に備えるた

収益的収支

項目	金額
収益的収入①	9億1,358万円
営業収益	8億7,957万円
(うち給水収益)	8億3,144万円
営業外収益	3,396万円
特別利益	5万円
収益的支出②	8億1,268万円
営業費用	7億2,094万円
営業外費用	9,173万円
特別損失	1万円
純利益①-②	1億 90万円

め建設改良積立金に5千万円を積み立てる予定です。



資本的収支とは、浄水施設や配水池、配水管の整備などに使用するための収支を表したものです。

平成27年度決算は、収入合計が2億6千941万円、支出合計が7億1千206万円で、収支は4億4千265万円の不足となりました。

この不足額は、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用の減価却費など、内部留保している損益勘定留保資金などで補てんしました。

資本的収支

項目	金額
資本的収入①	2億6,941万円
企業債	2億3,950万円
負担金	322万円
国庫補助金	2,669万円
資本的支出②	7億1,206万円
建設改良費	4億4,592万円
企業債償還金	2億6,614万円
不足額①-②	4億4,265万円